



いね **バケツ稲づくり** **マニュアル**

マニュアル、観察ノート、
 指図書は、ホームページから印刷できるよ

いね
 観察しながら稲を育ててみよう！

いね **バケツ稲づくりカレンダー**

こちらを用意しましょう！
ポリバケツ (10リットル以上のもの)
種もみ・肥料セット
 (※写真と実物は異なる場合があります)
土
 (黒土、赤玉土、鹿沼土を混ぜてもよい)



いね **稲が成長する様子**



芽出し

種まき

ぶんげつ

ぶんげつがすすむ

穂が出る

お米ができる

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

いね **土の準備**

土は、「黒土6、赤玉土3、鹿沼土1」の割合で用意し、ビニールシートなどに広げてかわかして、肥料と混ぜて使います。

セットの肥料は、チッソ、リン酸、カリの3要素を含む化成肥料で、収穫まで肥料を追加しなくても育ちます。

使用する土の注意点

黒土のかわりに培養土を使う場合は、セットの肥料は入れないでください。田んぼや畑の土を使う場合は、黒土など他の土を混ぜる必要はありません。



おじやおやじ

▲かわかすと土にすんで
 いる菌が活気づき、稲の成長を応援してくれます。

▶肥料を土の全体にまき、均一に混ぜ込みます。



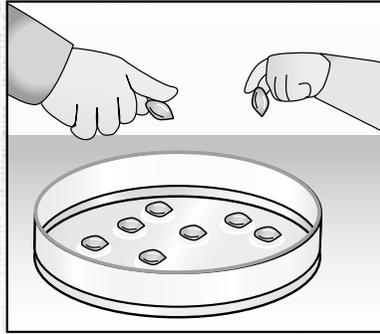
1 芽出し

白い芽(鞘葉)が1mmくらい
見えたら種まきできるよ!



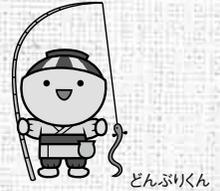
シャーレなどの浅い容器(ようき)に種もみがひたるくらいの水を入れます。水にひたした種もみは、室内のあたたかくて暗い場所(おんないばしょ)におきましょう。

種もみに酸素(さんそ)がじゅうぶんに行きわたるよう、水は毎日とりかえます。

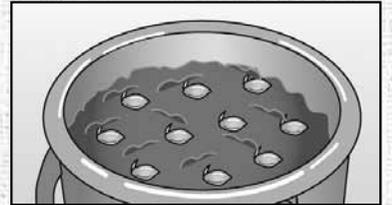


2 種まき

種もみをまいた日をメモしてね
※種もみをスズメに食べられないように、葉が5cmくらいのびるまでざるをかぶせます。



水とよく混ぜて泥(どろ)になった土をいれたバケツに、表面に水がたまらないくらい(すず)の水を入れます。少し離して種もみをまき、深さ6~7mm(種もみふたつ分)ほど指で押し込み、土をかぶせます。土がかわいたら、土の表面(お)がしめ湿るくらいに水をまきます。

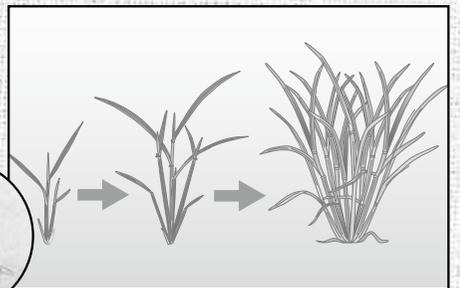
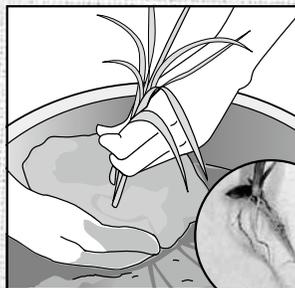
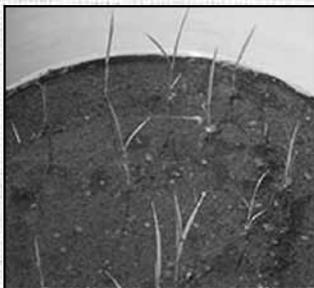


3 苗の移しかえと分けつ

コシヒカリは成長すると背が高くなり、
倒れやすいので支柱を用意しましょう。



葉が3~4枚にふえたら根ごとやさしく苗をぬき、茎が太く育ちのよい苗を2~3本(コシヒカリは4~5本)にまとめ、バケツの中心に、2~3cmの深さに植えます。そこに水を2~3cmの深さに張って約2週間保ち、分けつが進んだら5cm深さに張ります。



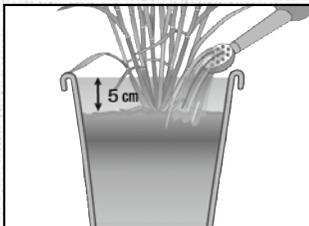
4

なか 中ぼし

なか
中ぼしをすると、土は酸素を取り込み、根は水を求めてのびるので、じょうぶな稲が育つよ!



いね くきすう 稲の茎数が 20 本、くきたけ 草丈が 40~50cm 程度になったら、2~5 日くらい水をぬきます。土の表面がかわいたらバケツに水を 5cm くらい入れ、なくなったら足します。



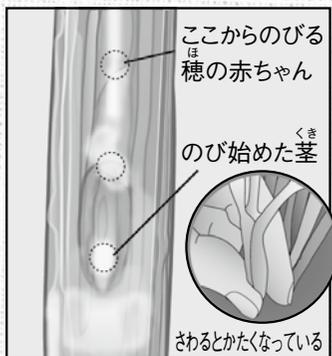
なか 中ぼしの注意点

- ・雨が入らず風通しのよい場所に移してください。
- ・土の表面がかわきにくい場合は、竹ぐしなどを数力所につきさすと、空気が入りやすくなります。
- ・中ぼしの回数は 1 回です。

5

お米になる

ほ 穂が出たらスズメに食べられないように網をはろう!



① 穂の赤ちゃん (幼穂) ができると、茎がふくらみ、約 20 日で穂がでます。

② つぼみがわれて花がさきます。おしべの花粉がめしべにつき、受精します。



③ もみの中のでんぷんが固まって重くなり、穂がたれてきます。



6

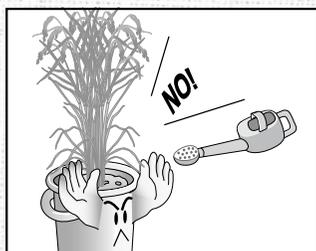
いね 稲かり

いね 稲をほす時も、スズメに気をつけま



いね 稲かりの目安は、穂が出てから 40~45 日ごろ、穂の約 90% が黄白色になったころです。その 10 日くらい前に水をぬき (落水)、かわかしてから稲をかります。かりとったら穂を下にして根元をしぼり、風通しがよい場所で 10 日ほどほします。

① 落水する



② 稲をかる



③ 稲をほす

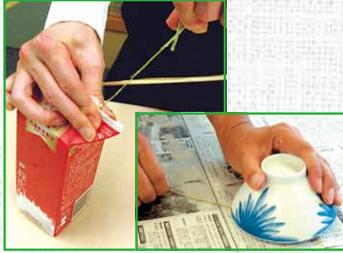


7 お米にする

もみすりには、^{なんしき}軟式野球ボールの
^{かた}硬さがちょうどいいよ!



① 脱こく (穂からもみをとる)



茶わんや牛乳パックの中
に穂を入れて引っぱると、も
みが容器の中に残ります。

② もみすり (玄米にする)



すりばちにもみを1握り入れ、
^{なんしき}軟式野球ボールでゆっくり上
の方ですり上げます。息をふき
かけて、もみがらを飛ばします。

③ 精米 (白米にする)



玄米をビンに入れて
ぼう棒でつき、出てきた粉
(ぬか) はふるいなどで
落とします。

上手につくるポイント



台風対策

台風などの強風の
時はバケツ稲を室内
に移動させましょう。

スズメ対策

稲の周りに園芸用
の支柱をたて、網な
どをはります。

病虫害対策

はん点などが出た病気
の葉や、害虫はその場で
取りのぞき、病気の稲は
他の稲と離して育てます。

水温管理

水は20～30℃が
適温です。水温が高く
なりすぎる場合は、水
を入れかえましょう。

わからないことがあったら相談室に質問してね!

バケツ稲づくり相談室
☎03-5295-1323

みんなのよい食プロジェクト ホームページ
<http://www.yoi-shoku.jp/>

10:00 ▶ 17:00 (土・日・祝・年末年始はのぞく)

個人情報の取り扱いについて: いただいた個人情報は、「バケツ稲づくり」事業の資料等
の送付や食育関連チラシの配布等、バケツ稲づくりに関する事業のみに使います。



あかちゃワン



ミニちゃワン



パパちゃワン



ママちゃワン

バケツ稲づくり事業

主催: 全国農業協同組合中央会 (JA全中)

協賛: 全国農業協同組合連合会 (JA全農)

推薦: 全国小学校理科研究協議会 / 全国小学校社会科研究協議会 /

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 日本理科教育協会 /
日本理化学協会 / 日本生物教育会

【監修】寺島一男 (独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所企画管理室長 農学博士)

【参考文献】『お米が実った』(JA全中) 『ジュニアファクトブック 食料・農業・JA 改訂版』(JA全中)

シリーズ『写真でわかるぼくらのイネづくり』農文協編 (農文協)

シリーズ『米で総合学習 みんなで調べて育てて食べよう!』横田不二子著 (金の星社)

『農学基礎セミナー 作物栽培の基礎』栗原浩也著 (農文協)

【編集・制作】株式会社日本農業新聞



バケツ稲づくり事業は、みんなのよい食プロジェクト事業の資金を活用しています。